

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Will			
○保護者評価実施期間	2024年12月12日		～	2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2024年12月12日		～	2024年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムが固定化しないように、5領域を基に専門性を取り込んだプログラムを行っている。	月に1度プログラム内容に関して支援者が集まり、通所中の児童に特性や成長にあったプログラムを決める会議を行っている。	各支援者が研修や自己研鑽により学んだプログラムを、更に当事業所にあったやり方で実践していきます。
2	保護者様との意思の疎通や情報伝達の項目や満足度の項目では良い評価を頂いているので、今後も継続して行っていく。	今年度より新しくご家族との連携の為にソフトを導入し、よりご家族との連携、通所時の児童の様子が分かるようになった。	今後もソフトによる連携だけでなく、ご家族のお声を直接聞ける場を設け、積極的に連携を深めていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対する研修会や家族支援プログラムの情報提供ができていない。	研修会やペアレントトレーニングなどの講師を行うための外部連携が必要。	職員が講師を行える研修の機会を設けたり、外部連携を行い講師を派遣してもらい、開催の機会を設けていく。
2	保護者会の開催など行えていないので、保護者同士の交流の場の提供ができていない。	事業所と保護者との連携は行えているので、保護者の悩みや考えを共有できる場の提供ができていない。	まずは、不定期開催であっても来年度中には保護者会の開催ができるよう場を設ける。
3	地域連携（地域の子供達との連携）が希薄である。	連絡調整などは行っているが交流や活動をする機会が持てていない。	地域連携を行っていけるよう、事業所より積極的に放課後児童クラブや児童館との密な連絡調整を行い、交流の場を持てるよう対応していく。